

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

|           |                         |       |           |
|-----------|-------------------------|-------|-----------|
| 基本目標      | 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして | 施策コード | 14230     |
| 政策名(章)    | 第4章 人間性豊かな子どもを育成します     | 評価担当部 | 学校教育部     |
| 基本施策名(節名) | 第2節 青少年の健全育成            | 評価担当課 | 青少年相談センター |
| 施策名       | 青少年相談と非行防止活動の推進         | 課長名   | 小西 保勝     |

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

青少年が抱える様々な課題に対し、適切で効果的な相談活動が展開できるよう、青少年相談体制の充実を図ります。青少年の非行を防止するため、家庭をはじめ地域社会全体の課題として非行防止活動の推進に努めます。増加傾向にある青少年の問題行動・非行化に対し、家庭や地域の教育力を高めるため、学校と地域の青少年相談員との連携を強化し、青少年に対して地域での「声かけ」を主とした指導・相談活動を行っている。また、街頭指導の相談員による重点地区での指導・相談活動を行っている。

## 2 事業費・人員

| 年度          | 平成14年度(決算) | 平成17年度(決算) | 増減の主な理由 |
|-------------|------------|------------|---------|
| 事業費         |            | 9,950      |         |
| 人件費         |            | 8,936      |         |
| 市民一人あたりの事業費 | 30         | 28         |         |
| 合計          | 18,372     | 18,886     |         |

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

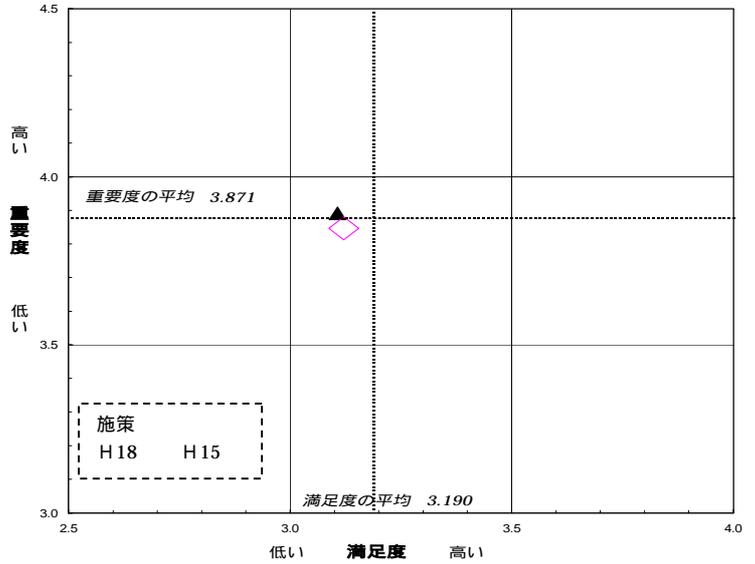
## 3 成果・活動指標

|     | 指標名        | 指標の基準値の定義  | 基準値(単位) | 基準年度 |
|-----|------------|--|---------|------|
| 指標1 | 要声掛け少年率(%) | 街頭指導件数 / (6~19歳)青少年人口<br>H16街頭指導件数:2,459件 / H16青少年人口:<br>83,584人       | 2.95%   | H16  |
| 指標2 | 少年犯罪率(%)   | 刑法犯少年検挙件数 / (6~19歳)青少年人口<br>H16刑法犯少年検挙件数:1,077件 / H16青少年人口:<br>83,584人 | 1.29%   | H16  |
| 指標3 |            |  |         |      |
| 指標4 |            |  |         |      |
| 指標5 |            |  |         |      |

|     | H17目標値/実績値  | 中間年度 | 中間年度の目標値 | 最終年度 | 最終年度の目標値 | 目標値の考え方(根拠)             |
|-----|-------------|------|----------|------|----------|-------------------------|
| 指標1 | 2.76 / 3.37 | 19   | 2.38%    | 21   | 2.00%    | 要声掛け少年率を平成15年度の水準まで下げる。 |
| 達成率 | 81.9 %      |      |          |      |          |                         |
| 指標2 | 1.14 / 1.08 | 19   | 1.07%    | 21   | 1.00%    | 少年犯罪率を平成15年度の水準まで下げる。   |
| 達成率 | 105.6 %     |      |          |      |          |                         |
| 指標3 |             |      |          |      |          |                         |
| 達成率 | #DIV/0! %   |      |          |      |          |                         |
| 指標4 |             |      |          |      |          |                         |
| 達成率 | #DIV/0! %   |      |          |      |          |                         |
| 指標5 |             |      |          |      |          |                         |
| 達成率 | #DIV/0! %   |      |          |      |          |                         |

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.121で51施策の中で34番目。  
 重要度は3.847で25番目である。  
 改善要望度は0.0322で22番目である。  
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、40歳代で最も低くなっている。  
 重要度は、70歳以上で最も高く、30～50歳代で低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、20、30、60歳代で前回調査より上がり、40、50歳代で大幅に下がっている。  
 重要度の順位では、30歳代、60歳以上で前回調査より上がり、50歳代で大幅に下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

| 視点の種類 | 評価基準・着眼点                                 | 評価点     | それぞれの視点に対して評価の具体的根拠                                    |           |
|-------|--|---------|--|-----------|
| 有効性   | 各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している | 4 (2) 1 | 青少年街頭指導・相談事業を各地区の青少年相談員と実施して、成果を上げている。                 |           |
| 効率性   | 最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている                 | 4 (2) 1 | 青少年街頭指導・相談事業を各地区の青少年相談員と実施することにより、経費をかけずに効果をあげている。     |           |
| 市民満足度 | 市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している    | 4 2 (1) | 不審者情報等の増加により必要性は高い。                                    |           |
| 合計    |  | 5       | 評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による)<br>A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下) | 1次評価<br>B |

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

|     |  |
|-----|--|
| 課題  | 津久井・相模湖地区の街頭指導・相談事業の実施方法                     |
| 解決策 | 平成18年度の津久井・相模湖地区の街頭指導・相談事業の実績を分析し、実施方法を検討する。 |

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

|                                   |           |
|-----------------------------------|-----------|
| 課題と解決策にあるとおり、合併後の実施方法の検討を行う必要がある。 | 2次評価<br>B |
|-----------------------------------|-----------|

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

|  |      |
|--|------|
|  | 3次評価 |
|--|------|

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



